



「聖なる者となりなさい。
私が聖なる者だからである。」
I ペトロ 1:16

URL <http://www.jhc.or.jp>

1-30-1, Megurita-cho Higashimurayama-shi Tokyo, 189-8512 JAPAN
〒189-8512 東京都東村山市廻田町 1-30-1 Tel 042(394)7466 Fax 042(392)2877 E-mail jhc-honbu@jhc.or.jp



2022年4月8日

全国の牧師先生方、役員の皆様へ

日本ホーリネス教団
委員長 大前 信夫
総務局長 佐藤 信人

【第18報】新型コロナウイルスの対応に関するお知らせ

主の聖なる御名をたたえます。

受難節にあたり、主イエスの十字架の恵みに支えられてお過ごしのことと思います。また、新年度に入り、転任あるいは新任の先生方におかれましては、引っ越しの片付け等で落ち着かない日が続いておられることでしょうか。主の守りと支えがありますようお祈りいたします。

新型コロナウイルス感染症への対応も3年目を迎えました。この間、感染の拡大と収束の波が繰り返されるとともに、変異株の相次ぐ出現により、私たちは常にそれらの特性に適した対応が迫られてきました。

そのような中で、新型コロナウイルスに対する理解が深まり、またワクチンや治療薬の開発が進み、医療提供体制が整備されてきました。明確になってきたことの一つは、接触感染は比較的少なく、感染経路の主体は飛沫／エアロゾル感染だということです。その一方で、高齢者の重症化率は高い状態が続いています。時間の経過とともに、私たちの国においても新型コロナウイルスに対する政府の考え方や対応が大幅に変わってきています。従来、人口10万人あたりの新規感染者数によってステージ分類を行ってきましたが、現在はステージ4を大幅に上回る新規感染者を出しながらも、各地に出されていた「まん延防止等重点措置」が解除されました。すなわち、重症化リスクの高い高齢者の命を守りつつも、一定の感染者が出ることを覚悟した上で、社会経済活動を再開・継続する方針へと転換しました。

これを受けて、教会における諸集会の持ち方につきましても、これまでの考え方を修正しつつ、改めて下記のように感染予防対策を確認させていただきます。

1. 見直し後の基本的な考え方

①「感染状況を表す指標」の使い方について

これまで、地域における流行状況（＝新規感染者数）を指標にして、活動制限や停止な



「聖なる者となりなさい。
私が聖なる者だからである。」
I ペトロ 1:16

URL <http://www.jhc.or.jp>



1-30-1, Megurita-cho Higashimurayama-shi Tokyo, 189-8512 JAPAN

〒189-8512 東京都東村山市廻田町 1-30-1 Tel 042(394)7466 Fax 042(392)2877 E-mail jhc-honbu@jhc.or.jp

どの対応を取ってきましたが、今後は新規感染者数などの「感染状況を表す指標」は感染対策の指標としてではなく、参考として用いるようする。

②活動再開の判断について

集まる礼拝等を再開するか否かの判断は、地域における感染状況を見て判断するのではなく、「適切な基本的感染対策が取れているか？」という点を中心にして、総合的に判断する。

2. 基本的な感染対策

上記の基本的な考え方のもと、それぞれの教会において以下の全項目が実践可能であれば、「感染状況に関わらず活動可能」と考える。

①マスクの正しい着用（最も重要な感染対策）

布マスクやウレタンマスクではなく、必ず不織布マスクを隙間なく着用する。

②換気（次に重要な感染対策）

空気の流れを作るために、できるだけ2方向の窓を開ける。可能であれば常時換気。

③手洗い／手指消毒

④三密回避（密閉・密集・密接）

座席の間隔を空け、賛美などの発声をできるだけ抑える。

これらはいくまで基本的な考え方を提示したものであり、各地域や教会において状況は異なりますので、それぞれの教会において総合的に判断してください。なお、具体的な対応について判断に迷い、相談を必要とする場合は、総務局長・佐藤信人（022-234-5385、sendainankou@ybb.ne.jp）までお問い合わせください。

これからも感染の波が繰り返されることが予想される中で、皆さまの教会の上に、主の守りと祝福が豊かにありますようお祈りいたします。

「そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、『あなたがたに平和があるように』と言われた。」

（ヨハネによる福音書20章19節）

主にありて